

巻 頭 言

1993年に教育専攻科が、認可され早や今年で9年が経過しました。教育専攻科は、1年で大学院卒と同じ専修免許の取得出来るコースとして設置してきました。専攻科生には大学院生と同じようにとゼミの選択や自らが学び易いようにと専用の研究室を設置し、インターネットを接続しているパソコン、研究に必要な図書、視聴覚機等を備え専攻科生の学問、研究のニーズに答えるべく努力してきました。他、海外での教育実習、AT、教員採用試験実践講座、ワークショップ、シリーズ講演会等々、多彩なプログラムを用意し、実力の有る卒業生を生み出すべく頑張り、実際に、教員としてまた、心理学のカウンセラーとして社会で活躍している者も多数巣立っています。

この度、平成14年度に臨床心理学専攻と教育学専攻の大学院が本学に設置許可がなされることになり、今在る教育専攻科の役目を、大学院に任せてはという考えや、学園の経営方針で短い年月ではありましたが一時専攻科を閉じ、大学院の動向を把握したうえで、再開するかを再検討するという形で閉じることになっています。

また、大学でのカリキュラムや、教育行政等いろいろと新風を吹き込まれ、専攻科の設置には特に多大な努力をなさいました山添正教授が、他大学に移られることになり、我々教員並びに職員は非常に残念に思っております。今回の教育専攻科紀要は、その記念号として発刊しようと考えております。山添教授のますますの研究の発展と健康を念じ、一言とさせていただきます。

教育専攻科長 井 関 眞 欣